

防災・減災まちづくりを行っているか

答 連携した防災体制を目指している



金城 憲治 議員

問 防災・減災のまちづくりを行っているか。インフラ整備の観点から、下水道管理設備については、工事が行われているか。

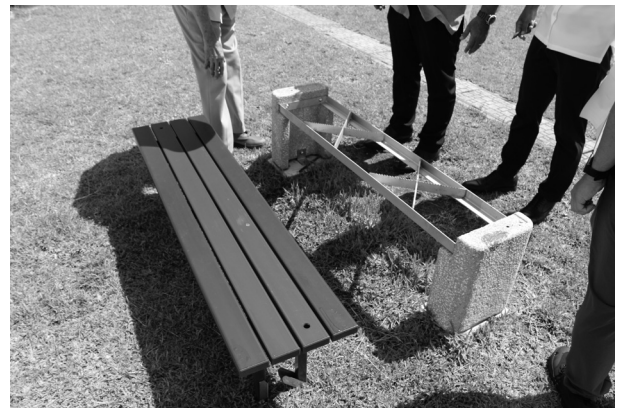
区画下水道課長 連携した防災体制を目指している。下水道管に限ってになるが、地震時には耐えられるような可とう性を持った構造を採用して施工している。

問 避難所としての公園には、防災・減災についてどのようなづくりがされているか。

都市整備課長 公園施設については、かまどベンチや災害用の照明、そういった災害時に対応できる施設の整備を行っている。

問 大規模避難所として、小中学校があるが、学校設備などで防災・減災の観点からつくられているものがあるか。

教育総務課長 学校施設の体育館は避難所に指定されている



津嘉山公園のかまどベンチ

ので、体育館照明については、調光機能付高天井用LEDライトをつけて機能強化を行っている。また、北丘小学校旧体育館跡地には、かまどベンチを設置する予定である。

問 本町の防災DXの推進状況はどうか。

副町長 本町の防災DXの取り組みについては、災害で住家等に被害を受けた場合の「罹災証明証」について、マ

イナポータルにて発行申請が可能となっており、また内水氾濫が多い宮平川に河川カメラを設置し、ホームページ上でリアルタイムに河川状況が確認できるよう整備している。

葬祭費補助制度を

問 今の葬祭事情からすると、火葬するまでの期間が長く、火葬料の値上がりやその他の負担も増えている現状から、葬祭料の支給手当の増額を検討してほしいがどうか。

国保年金課長 火葬に関係する状況が厳しい事は承知している。葬祭費の支給金額については、市町村の国民健康保険特別会計の財政状況により検討され、金額が決定する。本町の場合、国保特別会計は厳しい状況にあり、現行の2万円でいく方針になる。